



芦塚 翔子先生
福岡県生まれ、長崎大出身
長崎大学病院 形成外科勤務



田崎裕太郎先生
長崎県生まれ、長崎大出身
長崎大学病院 放射線科勤務



吉岡佐千佳先生
神奈川県生まれ、長崎大出身
長崎大学病院 小児科勤務

キャリアの軌跡

2016年7月22日

長崎大学病院医療教育開発センター発行

Vol.59

3年目の先生に聞く

この春、初期研修を修了した3人の先生方にインタビュー！長崎大学病院を選んだ理由、修了した後の感想を聞きました。

「やっぱり長大病院で正解でした！」

Question 1

なぜ長大病院を研修先にしたのですか？



Answer 吉岡先生

私は関東出身で、マッチング前は地元に戻ることも考え、他の病院に見学にも行きました。最終的に長崎に残った理由は、**教育体制が整っている長大病院で**、馴染みのある指導医の先生方や同期と一緒に研修したいと思ったからです。

また、これは修了後に感じたことですが、長大病院の「**研修医を見守ってくれる体制**」がありがたかったです。センター指導医の先生が定期的に面談をして進捗状況をチェックしてくれたり、メンターがメンタル面を気遣ってくれたり、事務スタッフが声かけしてくれたり、研修医を支える周囲の体制がしっかりしていました。

一人ひとり、**オーダーメイドの初期研修を作れることが魅力的**で長大病院を選びました。もちろん、初期研修を修了するための基準は絶対にクリアしなければいけないですが、それ以外の科は自分の将来に合わせたり、興味がある分野を選んだりして決めることができます。また、**1カ月前までローテーションを変えることができます**。研修中にやりたいことは変わったので、最終的に学生の頃に考えた内容とはかなり違うものになりました。



Answer 田崎先生

僕は長大病院で2年間研修するコースでした。このコースでも地域研修で**最長9カ月間、外の病院**(病院によります)を経験できるので、実はたすきがけコースと同じくらい自由度の高いコースです。

私は「たすきがけ」で1年目を長大病院、2年目を済生会長崎病院で研修しました。**大学病院と市中病院の両方を経験して、幅広い疾患や患者さんに関わることができました**。また、治療の選択や診療の流れ(市中病院で診察を受け、症状が重い場合は大学病院に転院。大学病院で治療後、地域の病院に戻る)を見ることができたのも勉強になりました。

「たすきがけ」で**済生会長崎病院を選んだことも良かった**と思います。同病院は病床数が200床の病院で、とてもアットホームです。大学の医局ではドクター同士のコミュニケーションが多いですが、済生会長崎病院では、薬剤師さん、技師さん、看護師さんとも密で、多職種で一丸となって診療する雰囲気の中で仕事ことができました。**市中病院と大学病院では違った人間関係を築くことができ、どちらも貴重な経験です**。

Question 2
初期研修を長大病院で修了してどうでしたか？



Answer 吉岡先生

Question3

長大病院での救急研修は充実していますか？



Answer 芦塚先生

私は1年目を長大病院、2年目は佐世保市総合医療センターの「たすきがけ」で両院の救急外来を経験しました。**大学病院と市中病院で見る救急の内容は全く違い、どちらの経験も役に立ちます!!!**

長大病院は3次救急なので、患者さんにとっては最後の砦的な存在です。本当に重症な患者さんを相手に、どう対応すべきかを学ぶことができます。また、**初期対応後の病棟管理は研修医が主体になります**。指導医に相談しながらトータルコーディネートしていくことで勉強になりました。

一方、**市中病院は発熱や腹痛、打撲などのコモディジーズをたくさん経験できます**。佐世保市総合医療センターでは当直で多くの患者さんのファーストタッチを経験でき、力になりました。その中で、腹痛を訴えてウォークインで来院した患者さんが実は解離だったという「かくれ重症」に遭遇しました。**突然の緊急事態に対応できたのは長大病院で3次救急を経験していたから**だと思います。

Question4

大学病院の手技は弱いと聞きますがどうですか？

手技をたくさん経験することは大事ですが、患者さんに危害を加えないために事前に準備することはもっと大切。**長大病院では比較的時間があふし、シミュレーションセンターなど学べる環境が整っています。**

Answer 吉岡先生



また、手技の様子を見守ってくれ、適切なアドバイスを下さる指導医がいると成果は格段に上がります。上手にできなかったとき、どう修正すればいいのかわからない点をハッキリさせることは、なんとなく成功した一例よりも価値があるはず。長大病院には**どの診療科にも手厚い指導体制があり、手技の機会があれば優先的に研修医に経験させて下さいます。**

だから、長大病院で手技の機会が少なかったとは思いませんでした。むしろ、**手技に対する勉強や準備が十分にできる絶好の環境**だと思います。

長大病院でも佐世保市総合医療センターでも指導医の先生が「どのくらい患者さん持てる？」と気遣って下さいました。**私のキャパシティに合わせて仕事を調節して**下さっていたと思います。また、両院ともに休みを取りやすいシステムがあります。やる気に満ち溢れているのも良いけれど、詰め込みすぎると体調を崩す原因にもなります。**休憩もしっかり取りながら進めていくことも大事**だと思います。

Answer 芦塚先生



Question5
仕事とプライベートのバランスはどうでしたか？

忙しい中でも同期と飲みに行ったりして充実しました♪
2年間楽しかったです！

みなさんの中には「初期研修をちゃんと終わられるだろうか」と不安になっている人もいます。**でも長大病院なら大丈夫**。僕らの代は45人いましたが、みんな修了証書を手に入れました。初期研修で最も大切なことは気管挿管の数でも、鑑別診断の数でもありません。**2年間を無事に修了することです!!!**
長大病院の指導医は教育に慣れている先生が多いです。研修医のそれぞれのキャパシティに合わせて指導を進めてくれるので、安心して研修に勤しめますよ！

田崎先生



最後に一言
6年生へのメッセージ

初期研修を修了したけれど、実はまだわからないことが多いです(笑) だけど、これまで培った院内ネットワークがあるので困ったときは誰かが助けてくれます。反対に指導医だった先生から放射線の診断を尋ねられると(プレッシャーを感じますが)嬉しいですね。やりがいを感じる3年目、**長崎大学病院を選んで良かったと心から思っています。**
みなさんもぜひ、一緒に働きませんか？